

校訓「文武不岐」
高朋高等学校だより
令和3年度10月号

発行者 高朋高等学校
住所 富山市東富山寿町 1-1-39
TEL (076) 437-9940
e-mail koho@koho.ac.jp

<寂しさは その色としもなかりけり まき立つ山の秋の夕暮れ> 寂蓮法師

これからは、少しずつ紅葉が見頃になります。色鮮やかな秋の光景は、改めて日本人で良かったと感じられる貴重な宝ですね。一方で、日本人は古くから、寂しさや物悲しさを詠うことで、秋の情感を際立たせる方法も知っていました。そんな「もののあはれ」を秋の夕暮れに込めて詠んだ歌が、「秋の物寂しさを誘うのは紅葉の彩りではなく、常緑樹の山の夕暮れそのものだ」という寂蓮法師の歌です。

「もうすっかり秋ですね」の言葉には、どこか寂しさが漂っています。特に、夕暮れ時や月の美しい晩には、いっそう寂しく感じます。それもそのはず。郷愁や哀愁の「愁」は、「秋の心」と書きますから。

さて、後期がスタートしました。自分の将来のために、今しなければならぬことは何か、そして、現在の延長線上にある10年後、20年後の自分は、どうなっているのか。1年間の締めくくりの学期にあたって、改めて、その問いに向き合ってください。

そのためには、新たな目標を具体的に立て、一つ一つ確実に実践してください。その際、時間を無駄にせず、目の前の出来ることから始め、今日できることを明日に伸ばさないことが大切です。しかしながら、何かしなければならぬと焦って、うまくいかなくても、ただただ闇雲に走り続けるだけでは、目標は達成できません。

どうも、自分の描いた目標への道筋からそれていると感じたら、もう一度原点に立ち返って、自分のやり方を振り返り、うまくいかない原因は何か考え、やり方を修正すればよいのです。この繰り返しが大切であり、「生き抜く力」につながります。このことを10月1日の始業式で、生徒たちに伝えました。

私たち教職員も、生徒たちと同様、実りの多い後期となるようがんばっていきます。今後ともご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

校長 富 樫 良 一



後期始業式

後期の初日の10月1日（金）に後期始業式を行いました。

式辞で校長は、「時の流れは、元に戻らず、止まるものではない。この瞬間もすぐに過去になり、未来も現在になる。人類は1年の区切りを設けたが、12月31日と1月1日は1日の違いだが、1月1日は年が改まる節目であり、そのような節目は大切である。昨日は前期の終業式を行い、今日は1日しか違わないが、後期が始まる節目の日である。終業式では、学年目標のことを話したが、目標を常に頭に置いて行動するといつかは実現する。学年目標のもと、後期はどんな自分になりたいか、そのためにはどうすればよいか、今日から一步を踏み出してほしい。」と生徒たちを激励しました。生徒は、節目の日に、気持ちを新たに、後期への決意を抱いたことと思います。



【校長 式辞】

高朋祭に向けて

10月22日(金)に開催する第33回高朋祭に向けて、生徒たちは前期末から準備を進めています。8日(金)の全校朝礼では、生徒会執行部が中心となって、高朋祭の成功を目指して全校生徒の意識を高め、今後の活動を活気づけるための集会を開きました。

はじめに、スローガン「つなげたい 心の中にある 創造の世界」を横断幕で掲げて確認し、執行部の細見君(2B)が「みんなで成功目指して頑張ろう!」と力強く呼びかけました。

次に、生徒会長の真栄城君(2B)が「生徒全員が準備活動に携わり、みんなで高朋祭を成功させましょう。」と挨拶しました。

最後に、富樫校長が「高朋祭は平成元年に第1回が開催され、33回続く伝統ある行事である。スローガンにあるように、一人一人の心の中にある創造の世界を表現してほしい。生徒、教職員、保護者の心が一つにつながる高朋祭になることを期待している。」と激励しました。

今回の集会によって、準備活動にいっそう勢いがつき、感動的な高朋祭となることを期待しています。



【スローガンを掲げて】

第1学年 永平寺坐禅研修

秋晴れの10月7日(木)、1年生59名と引率教員8名の67名で永平寺へ坐禅研修に行ってきました。この研修は30年以上続く、本校教育の特色の一つです。昨年度は、新型コロナ感染予防のため残念ながら実施できませんでした。今年度は、日帰りとはいえ実施することができ、大変中身の濃い、充実した研修となりました。

開講式のあと、大講堂で、雲水さんの指導のもと、坐禅の姿勢を整え、息を調え、とらわれているものを手放し、素直な心で坐禅をしました。また昼食の時には、「作ってくださる方がいることを考え、感謝の気持ちをもって、食してください」と雲水さんが話され、全員でありがたくいただきました。短い時間ではありましたが、坐禅、食事の体験、諸堂の見学、雲水さんの所作を間近で見ることを通して、禅の神髄に触れ、普段とは違う時間を過ごす体験となりました。



【坐禅で心を無に】



【法堂に向かって】

閉講式で挨拶した代表の生徒は「自分を見つめなおすことができ、これからも感謝の気持ちを忘れず、この経験を今後の生活に生かしていきたいです」と挨拶しましたが、この気持ちは参加した生徒の誰もが感じていたのではないかと思います。

学校での出発式や帰着式の進行・挨拶を担当した生徒も立派に行いました。

【10月～11月の主な行事予定】

10月18日(月)～21日(木) さわやか運動	11月15日(月) 後期中間考査日割発表
10月22日(金) 第33回高朋祭	11月20日(土)～22日(月) 県私学祭
11月10日(水) 課題研究発表会	11月22日(月)～26日(金) 後期中間考査
11月12日(金)～14日(日) 県高文祭	